

発掘新聞

2月23日号

平成25年復活第4号

編集・発行

九州歴史資料館

電話 0942-75-9575

実感！100人集まれば



豊前市永久笠田遺跡の遺構全体掃除と水汲みなどの作業を約100人で実施する様子
＝当館撮影

やっぱり吉村善補佐だ。100人使
っても大丈夫ー豊前市永久笠田遺跡
約100人で全体遺構スピード清掃。

現在当館が行っている東九州自動車道関係の発掘調査で、発掘作業員100名程度が集まり、すごいスピードで作業を行った状況をレポートする。

現場は、当館文化財調査室の吉村靖徳室長補佐が調査を担当し、先日報告した塔田琵琶田遺跡のすぐ北側に位置する豊前市永久笠田遺跡である。永久笠田遺跡では、これまで縄文・奈良時代の遺構や土器が発見されている。

当初計画では、2月の初旬にラジコンヘリコプターによる空中写真撮影を行う予定だったが、2月初旬の天候不順の影響で、13日まで延期していた。13日に撮影ということとで、前日に発掘作業員20名で全体掃除を終わらせていたところ、12日夜に降った雨により、水たまりが多数出現し、土の表面も雨によりベタベタした状態に逆戻り。

そこで吉村室長補佐は急遽、近くで調査を行っている小澤技術主査に頼み、発掘作業員約60名、その他の現場から

20名の計100名近くの発掘作業員を集めた。水汲み及び全体掃除を吉村補佐の指示のもと行ったところ、12時すぎには掃除が終わり、14時に無事ラジコンヘリコプターによる撮影を行うことができた。人が集まれば、早くできるということを実感した一日であった。



こちらは水汲み部隊、ドロドロです

雨男ではありません

文化財調査室 吉村靖徳室長補佐

私たちの発掘調査員の中で、雨男であることは、肝心な時に現場ができないということ、非常にいやな称号になります。今回の一件はたまたまで、本来は晴れ男です。信じてください。

●今号の「人」

平田春美整理指導員

中庭から見学できる文化財整理室で遺物実測と他の実測作業員の技術的な指導も行っています。遺物実測は太宰府市の旧館時代から、30年余り担当しています。遺物実測の際は、同じように見える遺物でも一つ一つ特徴が異なるので、その特徴を逃さないように遺物を良く観察し、実測図に表現するようにしています。

現在は東九州道関係の遺物実測量が非常に多く大変な毎日ですが、報告書に私たちの書いた遺物実測図が掲載されますので、がんばっています。



遺物実測を行う平田整理指導員